

## 群馬大学 ベストティーチャー賞 優秀賞を受賞

半井 健一郎 准教授

平成21年5月8日に群馬大学の本年度のベストティーチャー賞が発表され、社会環境デザイン工学専攻の半井健一郎准教授が優秀賞を受賞した。群馬大学ベストティーチャー賞は、学部4年生および大学院博士前期課程1・2年生の投票結果をもとにして選ばれるもので、本年度は群馬大学全体で12名、工学部では3名に授与された。

学生の理解度を確認しながら進めるスタイルの半井准教授の講義は丁寧でわかりやすいこと、また、教育全般に対する姿勢が熱心であることなどが学生から評価された。半井准教授は、コンクリート工学Ⅰ、Ⅱ、社会環境学実験Ⅰ、Ⅱなどを担当している。

以下は半井准教授の受賞に対するコメントである。

この度は群馬大学ベストティーチャー賞を受賞させていただいたことを大変光栄に思っています。特に、本受賞は学生の投票によるものですので、投票をいただいた学生の皆さんに心から感謝をしたいと思います。私自身の講義スタイルである学生とのやり取りは、受講している学生の皆さんの協力によって成り立っているものです。講義内容をより分かりやすく、より深みのあるものにするための、学生の皆さんからの貢献に、あらためて感謝をしております。もちろんまだまだ至らないところも多々あると思いますので、この受賞を励みに、講義をより魅力的なものできるように努力してまいります。

